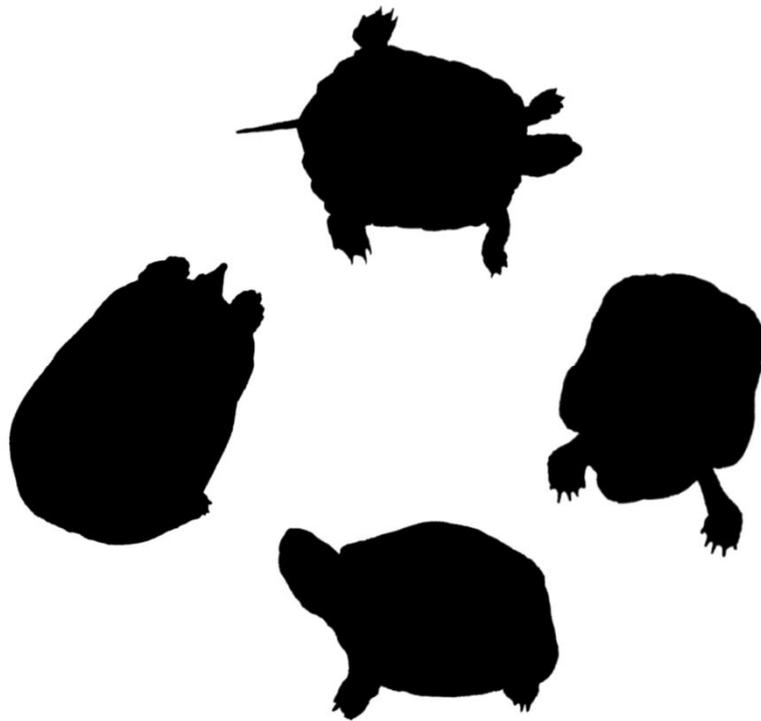


第1回 淡水ガメ情報交換会



神戸女子大学須磨キャンパス
2014年2月8日（土）～2月9日（日）

主催：神戸市立須磨海浜水族園・認定NPO生態工房

第1回 淡水ガメ情報交換会

日程:2014年2月8日(土)～2月9日(日)

2月8日(土)	2月9日(日)
12:00 受付開始	09:30 受付開始
13:00 開会式	10:00 カメセミナー
13:15 カメセミナー	11:00 ポスター発表
15:00 特別招待講演	12:00 記念写真撮影・昼食
17:00 一日目終了	13:00 口頭発表
18:00 懇親会	16:00 閉会式

会場:神戸市須磨区東須磨青山2-1 神戸女子大学須磨キャンパスM館3階
口頭発表 M 317教室, ポスター発表 M 318教室
懇親会 神戸市立須磨海浜水族園エントランスホール

会費:参加費 一般3,000円, 学生1,000円

懇親会費 10歳代 1,000円, 20歳代 2,000円, 30歳代 3,000円

40歳代 4,000円, 50歳代 5,000円, 60歳代以上 3,000円

※当日、受付にてお支払いください。

受付:M館3階 当日は混雑が予想されますので、お早めにお越しください。

荷物置き場:M318教室

※クロークは設けませんが、貴重品以外のお荷物を置く場所としてお使いいただけます。

★昼食:会場周辺にコンビニやレストランはございません。あらかじめご用意ください。

懇親会:2月8日(土)18:00～ 神戸市立須磨海浜水族園 エントランスホール

※水族園正面向かって左手の西出口からお入りください

事務局: 谷口・三根・亀崎

〒654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1-3-5

Email: m-taniguchi@sumasui.jp

TEL:078-731-7301 FAX:078-733-6333

※ 当日の連絡は 080-4159-3966 までお願い致します。

会場（神戸女子大学須磨キャンパス）への交通

市バスのバス停「こども病院前」からすぐ（バス時刻表は3ページ参照）

1. 在来線でお越しの場合

JR須磨駅または山陽須磨駅から（須磨駅前→こども病院前下車） 約10分、片道料金200円

市バス75系統: 妙法寺駅前行き ※この系統が本数が多く、おすすめです

市バス71系統: 北須磨団地行き

市バス72系統: 多井畑・下畑方面行き

2. 新幹線でお越しの場合

新神戸駅から地下鉄西神・山手線で一本、妙法寺駅へ(約15分)。

妙法寺駅から（妙法寺駅前→こども病院前下車） 約10分、片道料金200円

市バス75系統: 須磨一の谷行き

3. お車でお越しの場合

姫路方面から 第二神明: 須磨料金所 下車、左折すぐ右手

大阪方面から 阪神高速: 月見山出口 下車、約3分

4. タクシーでお越しの場合 ※須磨駅にはタクシーが常駐しております

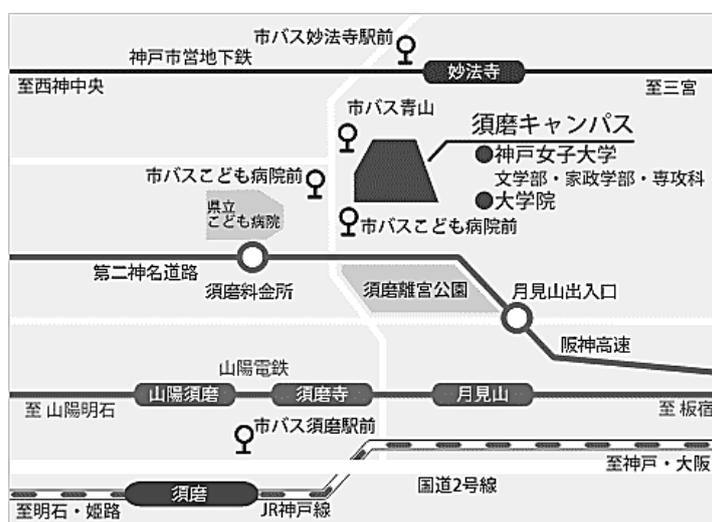
須磨駅から 約6分、約1,000円

妙法寺駅から 約6分、約1,000円

神戸タクシー TEL:078-792-6511

※会場の駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をお使いください。

お車でお越しの場合は、お手数ですが事務局まで一報ください。



バス時刻表

須磨駅前発

71系統 北須磨団地 行き			72系統 下畑・多井畑 行き		
	土曜日	日曜日		土曜日	日曜日
08時	14分 43分	14分 43分	08時	09分	09分
09時	18分 47分○	18分 47分○	09時	04分	04分
10時	00分 55分○	00分 55分○	10時		
11時	59分○	59分○	11時	23分	23分
12時	26分	26分	12時	03分 53分	03分 53分
13時	54分	54分	13時		
14時	39分○	39分○	14時	03分○	03分○
15時	07分 49分○	07分 49分○	15時	13分○ 33分○	13分○ 33分○
16時	17分	17分	16時	12分○ 33分○	12分○ 33分○
○印は遠回りしますのでおすすめしません			○印は遠回りしますのでおすすめしません		

75系統 高倉台経由 妙法寺駅前 行き

	土曜日	日曜日
08時	03分 17分 32分 47分	09分 22分 35分 49分
09時	01分 15分 29分 43分 55分	01分 15分 27分 37分 53分
10時	08分 25分 38分 51分	09分 24分 41分 57分
11時	04分 16分 28分 40分 52分	13分 28分 43分 58分
12時	04分 15分 25分 37分 48分 59分	14分 27分 41分 56分
13時	13分 27分 41分 55分	11分 26分 41分 56分
14時	09分 23分 35分 49分	11分 26分 40分 56分
15時	05分 17分 29分 41分 52分	11分 26分 41分 56分
16時	05分 17分 29分 41分 53分	09分 22分 36分 52分

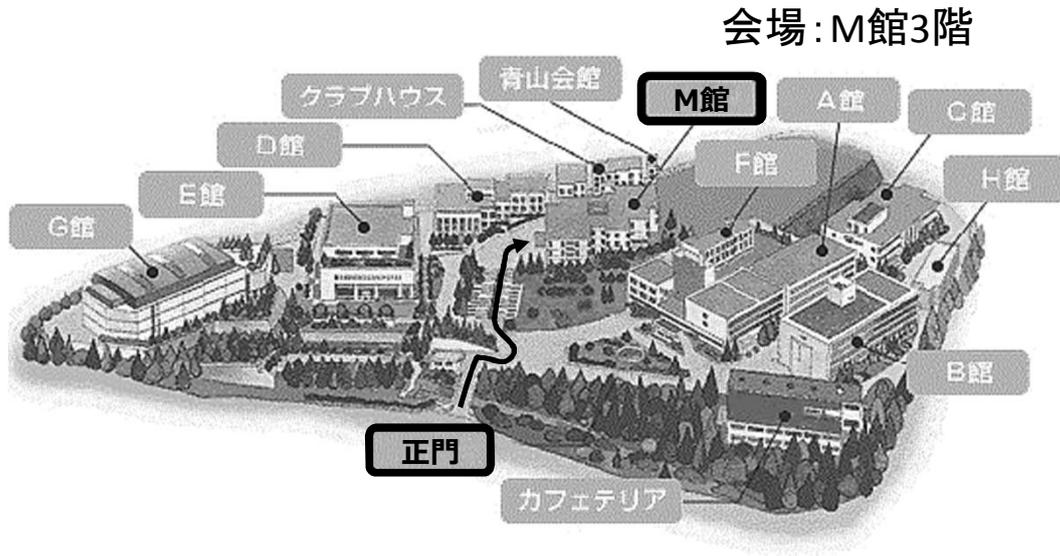
妙法寺駅発

75系統 須磨一の谷 行き		
	土曜日	日曜日
08時	08分 19分 33分 49分	08分 20分 33分 45分 59分
09時	01分 07分 13分 27分 40分 50分	14分 20分 27分 43分 57分
10時	04分 17分 28分 40分 53分	12分 25分 40分 56分
11時	06分 11分 17分 28分 41分 51分	04分 13分 28分 43分 58分
12時	04分 17分 33分 47分 58分	15分 31分 43分 51分 59分
13時	06分 13分 20分 27分 41分 55分	06分 13分 19分 28分 43分 58分
14時	10分 21分 35分 47分 53分 59分	13分 30分 44分 52分 58分
15時	05分 11分 25分 35分 40分 47分 55分 59分	05分 13分 28分 34分 43分 50分 58分
16時	05分 11分 20分 28分 35分 48分 57分	05分 13分 25分 35分 47分 59分

懇親会会場への交通

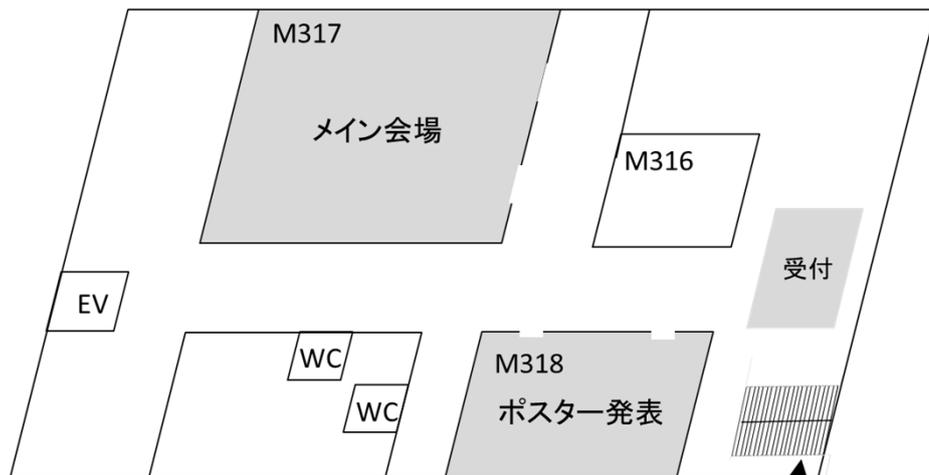
メイン会場(神戸女子大学須磨キャンパス)から懇親会会場(神戸市立須磨海浜水族園)までは、タクシー(相乗り)のご利用が便利です。1台約1,000円(1名300~500円程度)でご利用可能です。ご希望の方は当日受付までお申し付けください。

構内地図

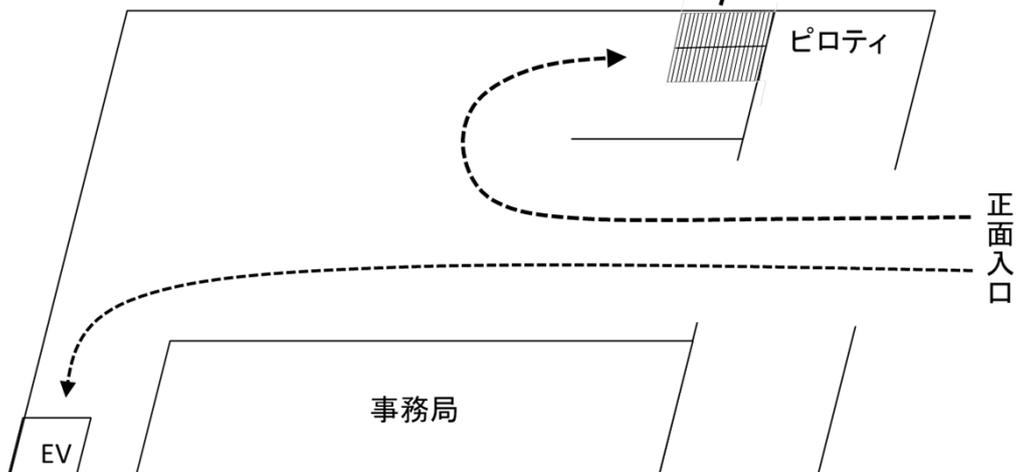


M館

3階



1階



淡水ガメ情報交換会開催趣旨

近年、日本において池や川の淡水生態系は改修工事や外来種等の影響により、その多様性は著しく低下しているといわれています。淡水カメにおいても同様に、特に北米原産の外来種ミシシippアカミガメが分布拡大し、在来種を圧迫しています。また最近では、クサガメは在来種ではないことが明らかとなり、ニホンイシガメと雑種を引き起こすことが問題視され始めました。交換会ではカメ類の自然環境下における現状を把握し、その保全方法や問題点について議論します。また、淡水カメの調査については、地域レベルで活動されている場合も多く、同様の活動をされている皆さんが全国的に集まって情報交換や意見交流する機会は少ないです。ぜひ、それぞれ活動されている皆さんが交流を深め、ネットワークが広がればと考えております。多くの方にご参加いただき、皆さんと共に日本の自然について語り合えることを期待しています。

特別招待講演者 Jeffery E. Lovich博士 プロフィール



アリゾナ州の南西生物科学センターの研究員。ジョージア大学にて生態学博士号を取得。30年以上のわたりカメを含めた爬虫類の生態について研究する。その他に外来種が生態系に与える影響等についても興味を持つ。代表著書には「Turtles of the United States and Canada」

などがあり、その他にも多数執筆。今回は、北米のアカミガメの生態についてお話しします。

発表に関する要項について

口頭発表をされる方

時間

講演は7分、質疑応答3分の10分です。予鈴を5分で1回、7分で2回、10分で3回鳴らします。多くの方に発表いただくために少し短い発表時間となっておりますが、恐縮ですが時間厳守でお願いします。

使用ソフト

Powerpoint 2003、2010 Windows 版を基本とします。それ以外のアプリケーションやMac、OHP などでの発表をご希望の方は、予めご相談ください。

発表データ

データは当日、USBメモリー、CD-R等で発表者受付にお渡しいただくか、2月7日(金)までに m-taniguchi@sumasui.jp までメールにてお送りください。

ポスター発表をされる方

ポスターパネルの大きさは90×180cmです。この大きさに収まるようにご準備ください。形式は任意です。ポスターの上部にはタイトルと発表者氏名を入れてください。

2月8日(土)の受付開始時から掲示が可能です。各ポスターの掲示場所には発表番号の番号札が貼られています。プログラムを確認の上、各自の番号札のポスターパネルに掲示ください。また、掲示用の留め具は会場にて用意します。発表者は2月9日(日)のポスター発表時に、自分の掲示したポスターの側に立ち、説明を行ってください。ポスターは2月9日(日)の閉会式終了後にボードから外し、各自持ち帰ってください。

講演要旨の作成と提出のお願い

本会の講演要旨を、淡水ガメ専門雑誌の亀楽に掲載させていただこうと思っております。つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、発表をされた方は期日までにご提出をお願い申し上げます。講演要旨は表題、発表者氏名、所属、英文表題(可能な方のみ)、英文氏名、本文の順にお書き下さい。本文の字数は600～800字程度とし増減は構いません。また図表や写真(1題1枚まで)を含んでも結構ですが、モノクロ印刷となりますのでご注意ください。なお、いただいた原稿は少し冊子にあわせて手を入れさせていただくかもしれませんがご了承下さい。**締め切りを3月7日(金)**と致します。出来るだけMSワード等の電子データを使って作成してメールもしくはCDなどで送付してください。どうしても電子データの提出が困難な場合は一報いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

原稿送り先 m-taniguchi@sumasui.jp (谷口)

第1回 淡水ガメ情報交換会プログラム

8日

12:00 受付開始

13:00 開会の挨拶

亀崎 直樹

13:15 カメセミナーその1 (司会:亀崎直樹)

S-1「日本における淡水ガメ(イシガメ科、スッポン科)の化石記録」

平山 廉

S-2「日本産イシガメ科カメ類の系統と分類」

安川 雄一郎

S-3「ニホンイシガメの生態と現状」

小菅 康弘

S-4「日本に生息するニホンスッポンの起源」

太田 英利

休憩(15分)

15:00 特別招待講演 (通訳:齊藤 稔)

「北アメリカにおけるアカミミガメの生態」

ジェフェリー・ロビッチ博士

17:00 一日目終了

18:00 懇親会 神戸市立須磨海浜水族園 エントランスホールにて

9日

09:30 受付開始

10:00 カメセミナーその2 (司会:亀崎直樹)

S-5「日本におけるカミツキガメの定着」

小林 頼太

S-6「ミドリガメ、日本侵入の歴史」

渡辺 潔

S-7「アカミミガメ規制に向けた社会情勢」

片岡 友美

11:00 ポスター発表 (会場:M館318教室)

P-1「播州地域古瀬池における淡水カメの生息状況」

○大場 理幹・弘津 航太郎・浅野 晃平

P-2「摂津市におけるミシシippアカミミガメの分布

～都市環境下における分布特性を探る～」

○西谷 匠平

P-3「伊丹市黒池・西池における外来カメ類の調査結果解析」

○有菌 理沙・○中津 聡美・○山本 敢太

P-4「捕獲を継続した岐阜大学周辺におけるカメ類の捕獲個体の経年変化」

○加古 智哉・安積 修平・古橋 美穂・宮元 彩希・吉川 晶子・楠田 哲士

P-5「明石市谷八木川における淡水性カメ類の分布」

○木場 俊平・谷口 真理・三根 佳奈子・亀崎 直樹

P-6「ミシシippアカミミガメの防除による動物相の変化」

○三木 佑介・谷口 真理・三根 佳奈子・亀崎 直樹

P-7「河川における外来種ミシシippアカミミガメの生息密度と環境の関係」

○瓦谷 弘樹・谷口 真理・三根 佳奈子・亀崎 直樹

P-8「外来種ミシシippアカミミガメの消化管内容物湿重量の分析」

○平盛 裕也・谷口 真理・三根 佳奈子・亀崎 直樹

P-9「ニホンイシガメとクサガメ間の雑種形成に関する研究:主に形態について」

○上野 真太郎・亀崎 直樹

P-10「須磨水族園におけるアカミミガメの防除の試み」

○三根 佳奈子・谷口 真理・亀崎 直樹

P-11「ありがとう、ニホンイシガメ応援団 ～新しい寄付プログラムの結果報告～」

○若澤 英明

P-12「野外での亀の写真(交雑個体など)」

○渡瀬 英晃

P-13「外来種を中心とした淡水カメ類における寄生蠕虫病疫学調査事例」

○浅川満彦

12:00 記念写真撮影・昼食

13:00 口頭発表 (司会:上野 真太郎)

O-1「香川県の淡水カメの生息状況ー3年間のカメ調査を通してー」

○土手 政儀・土手 政幸

O-2「沖縄島における淡水ガメの分布」

○嶋津 信彦

O-3「西日本における淡水ガメの分布」

○谷口 真理・亀崎 直樹・三根 佳奈子

O-4「10年間で野外のアカミミガメ個体群に起きた変化」

○野口 英樹

休憩(5分)

O-5「佐賀を中心としたアカミミガメのハス(蓮)食害に関する事例紹介」 ○有馬 進

0-6 「彦根城中堀に生息するオニバス個体群に与える

ミシシippアカミミガメの影響の検証」 ○曾我部 共生

0-7 「大正川と寺田池に生息するミシシippアカミミガメの幼体の性比」

○西堀 智子

0-8 「ブルーギル用カゴ網でカメを捕る」

○佐藤 方博

休憩(5分)

0-9 「明石市のアカミミガメ対策について」

○松浦 真也・飯塚 岳也

0-10 「千葉県ニホンイシガメ保護対策協議会の設立と

千葉ニホンイシガメ保護復興計画について」 ○近藤めぐみ

0-11 「カメモニターによるニホンイシガメの産卵行動モニターⅡ」

○菊水 研二

0-12 「神戸山手×須磨海浜水族園×相樂園 イシガメプロジェクト」

○井上 彩音○大内 友梨香○畑 梨香○北川 舞依

0-13 「神戸市須磨区における水棲カメ類を中心とした生態系保全活動」○山本 勝也

休憩(5分)

0-14 「継続的な防除によるカミツキガメの成熟サイズの変動」

○辻井 聖武

0-15 「クサガメの卵巣周期について」

○坂 雅宏・多田 哲子・鎌田 洋一

0-16 「クサガメ雌の亜成体期についてー性成熟到達サイズと年齢」

○多田 哲子・坂 雅宏・鎌田 洋一

16:00 閉会

淡水ガメ情報交換会参加者名簿
 (五十音順, ○は懇親会参加者, 講演番号を記載)

○ 青野 深		坂 恵太		○ 平山 廉	S-1
○ 浅野 晃平		○ 坂 雅宏	O-15	廣田 編子	
有蘭 理沙	P-03	○ 佐藤 方博	O-08	弘津 航太郎	
有馬 進	O-05	○ Jeffrey E. Lovich	特別講演	○ 藤田 宏之	
飯塚 岳也		○ 嶋津 信彦	O-02	松井 啓天	
○ 池田 摂子		○ 下藤 章		松井 拓人	
出雲 晶三		○ 白井 怜		松浦 真也	O-09
○ 井田 路男		○ 白田 歩華		三木 快修	
○ 稲見 徹		○ 曾我部 共生	O-06	○ 三木 佑介	P-06
井上 彩音	O-12	○ 高橋 亮雄		○ 三根 佳奈子	P-10
○ 上野 真太郎	P-09	○ 高橋 ゆかり		三宅 蓮菜	
上原 希		○ 田上 正隆		宮崎 康平	
上向井 一也		竹内 勝一		○ 宮崎 正敏	
○ 宇田川 元雄		竹内 雅美		○ 森 淳	
○ 遠藤 聡子		○ 竹田 正義		○ 森本 恭世	
大内 遥香		○ 竹中 利明		○ 安川 雄一郎	S-2
大内 友梨香	O-12	○ 武山 祐子		山垣 沙矢	
大嶋 範行		○ 多田 哲子	O-16	○ 山際 幸太郎	
○ 太田 英利	S-4	伊達 智輝		○ 山田 綾子	
○ 大場 理幹	P-01	○ 谷口 真理	O-03	山本 敢太	P-03
○ 加古 智哉	P-04	○ 谷 学		○ 山本 勝也	O-13
○ 笠井 崇弘		谷本 卓弥		○ 吉崎 和美	
○ 片岡 友美	S-7	田村(堀) 奈緒子		○ 若澤 英明	P-11
上山 裕也		○ 辻井 聖武	O-14	渡瀬 英晃	P-12
○ 亀崎 直樹		○ 寺岡 誠二		○ 渡辺 潔	S-6
○ 河南 嵩司		○ 寺田 玄			
○ 瓦谷 弘樹	P-07	土手 政幸			
菊水 研二	O-11	土手 政儀	O-01		
北川 舞依	O-12	土手 美恵			
○ 木村 謙吾		○ 鳥井 正男			
○ 木村 七海		内藤 馨			
○ 久埜 勝家		○ 中川 宗孝			
久米 卓美		○ 中谷 卓司			
黒瀬 博徳		中津 聡美	P-03		
桑原 大周		○ 中村 康子			
○ 小菅 康弘	S-3	西川 円			
○ 木場 俊平	P-05	西谷 匠平	P-02		
小林 浩司		西出 康子			
○ 小林 大起		○ 西堀 智子	O-07		
○ 小林 頼太	S-5	○ 野田 英樹	O-04		
○ 近藤 めぐみ	O-10	○ 野中 俊一郎			
○ 才木 誠太		畑 梨香	O-12		
○ 齊藤 壮史		原田 幸子			
○ 齊藤 慶治		平井 猛寛			
○ 斎藤 稔	特別講演通訳	○ 平盛 裕也	P-08		